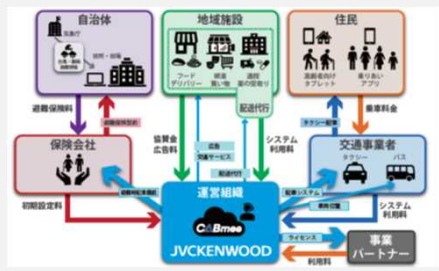





地域環境に根差したサステナブルな高齢者支援システム

交通利便性の低さに対する地域住民の不満解消を目的とし、高齢者の家庭に配布するタブレットとタクシーの配車システムの連携を行い、平時の医療や買い物等の移動・役務提供と、災害時の安心安全の確保が実現可能なシステムの実証を行う。

協議会の構成員	【幹事】(株)JVCケンウッド、埼玉県三芳町、あいおいニッセイ同和損害保険(株)、三和交通(株)、県立広島大学、流通経済大学		取組イメージ	
地域課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 公共交通の利便性の低さに対する住民の不満 ● 災害時の「自助」「共助」を重視した避難者・行政が一体となる移動手段の未整備 ● コロナ禍で移動が制限された状況下において、地域住民が医療や買い物等の生活に必要なサービスを受けることができる体制が整備されていないこと 		<p style="text-align: center;">MaaSを通じて提供しているサービスのイメージ</p>   <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="1131 766 1568 1013"> <p style="text-align: center;">タクシーの相乗り運行</p>  </div> <div data-bbox="1579 766 2027 1013"> <p style="text-align: center;">薬や生活必需品等の 買物代行・宅配サービス</p>  </div> </div>	
取組の概要	期間	2021年1月13日～3月31日	検証結果	
	エリア	埼玉県三芳町全域	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者のアプリ操作は、使う前からタブレットに対するハードルがあり、対面説明が必要である ● 緊急事態宣言下で相乗りは出来ていないが、休日の需要はかなり少なく、平日10-11時が高かった ● タブレットで住民に情報を届けられ、地域事業者や自治体から有用性があると評価された ● 三芳町をモデルに平時の相乗りサービスを活用した災害時の避難所への移動サポートの実現可能性の高さ、避難移動をサポートする避難保険活用の有効性が明らかとなった 	
	MaaSシステム	株式会社JVCケンウッドの提供する既存のIoT配車システム「CABmee」を利用しMaaSアプリを独自に構築		
	交通サービス	<ul style="list-style-type: none"> ● 路線バスの乗継検索機能の提供や運行状況の案内 ● タクシーの相乗り運行の実施 ● タクシーの相乗り運行の予約機能の提供 ● 店舗や医療機関の利用者への復路の交通手段の呼び出しサービスの提供 		
交通以外のサービス	<ul style="list-style-type: none"> ● 薬や生活必需品等の買物代行・宅配サービスの提供 ● 災害等緊急時における情報の配信 ● 災害時の避難補助を要請できる機能の提供 	今後の方向性		
検証内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者でも利用できるようなアプリの操作性の検証 ● 価格、時間帯、曜日等の関係に基づく相乗りの需要の調査 ● 自治体、地域事業者、タクシー事業者での利便性の検証 ● 避難や宅配等、交通以外での用途におけるシステムの利用可能性の検証 ● 災害時の要援護者の避難所への移動に必要な移動インフラのキャパシティ及び災害時運営において留意すべきリスクについてシミュレーション・実地検証 		<ul style="list-style-type: none"> ● 緊急事態宣言により、相乗りでの需要、顧客満足度などの数値検討ができていないため、引き続き相乗り需要の調査を進める ● 薬や買い物代行などに関しても積極的な検討ができていないため、コロナ禍の影響による自粛の状態を見極め、実証実験を続ける ● 災害時実証結果をもとに避難保険の商品化・自治体への展開準備を進める 	